

【平成 25 年度・前期学期・マクロ経済学 I・課題 4】

☆ 締め切り：平成 25 年 6 月 25 日(火) 講義開始時

【問 1】ある経済が閉鎖経済で、民間部門と政府部門によって構成されている。また、政府部門は、政府支出 G と一括税 T を財政政策のツールとして採用している。次のよう、この経済の財の市場を表す式が与えられて場合、これらについて後の問に答えなさい。必要なグラフは必ず描くこと。（試験では配点の対象になります。）

消費関数： $C = 15 + 0.8Y_d$ (Y_d は可処分所得)

独立投資： $I = 20$

政府支出： $G = 15$

一括税： $T = 5$

但し、 C は消費支出、 I は投資支出、 Y は国民所得であるとする。

- (1) この経済の総需要関数を表わしなさい。
- (2) この経済の均衡条件を数式であらわし、均衡国民所得を求めなさい。
- (3) この経済における、単純乗数と、一括税の乗数をそれぞれ求めなさい。（単純乗数の場合には、 T は一定とし、一括税の乗数の場合には G を一定と考えて求めること。）
- (4) 今、この経済の潜在生産高が 250 であるとする。この時、この経済にはインフレギャップデフレギャップのどちらが存在するか。またその大きさはいくらになるか答えなさい。
- (5) (4) で求めたギャップを埋めるために、政府が政府支出を調整する場合、新しい政府支出はいくらになるか求めなさい。

【問 2】A 君は現在高校 2 年生で、彼の両親は、A 君の大学への進学資金として、今年 4 月 1 日に 100 万円を積み立てた。A 君が浪人せず、高校卒業後すぐに大学に入学するとして、この積立金について次の問いに答えなさい。

- (1) 年利 1% でこの資金を銀行で運用（預け入れて利子を稼ぐこと）した場合、A 君の大学入学時には、この資金の将来価値はいくらになっているか求めなさい。
- (2) 銀行利子率が 1% で、A 君の入学する大学の入学時の費用（入学金、授業料、諸経費などの合計）が、120 万円であるとき、両親はいくら今年の 4 月 1 日に預金すればよいか、割引現在価値の考え方で求めなさい。
- (3) 銀行利子率が 2% に上昇したとして、(1)(2) を繰り返しなさい。